大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

プレスリリース

大阪科学・大学記者クラブ　各位

2018年5月16日
大阪市立大学

全国同時七夕講演会2018
「重力波で探る宇宙」を開催します

大阪市立大学は、大阪市立科学館、(公財)大阪科学振興協会、日本天文学会と共同で、2018年7月8日(日)に、大阪市立科学館において全国同時七夕講演会「重力波で探る宇宙」を開催します。

ガリレオ・ガリレイが初めて望遠鏡で天体観測を行った1609年から400周年を記念して、2009年に定められた「世界天文年」。この年から日本中の人々に天文学と宇宙への関心を持ってもらうことを目的として始まった「全国同時七夕講演会」も、今年で10回目の開催となります。

今回は、本学理学研究科の伊藤 洋介(いとう ようすけ)准教授が「重力波で探る宇宙」と題し、アインシュタインが予言した重力波について、一般の方にも分かりやすく解説します。つきましては、広くご周知いただくとともに、取材をご検討いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

講演会の様子

1　日　　時　2018年7月8日（日）　14:00～16:00　(13:30開場)
2　場　　所　大阪市立科学館 研修室（〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1）
　　http://www.sci-museum.jp/info/access/
3　講　　師　伊藤(いとう) 洋介(ようすけ)（大阪市立大学理学研究科　准教授）

4　講演内容　**「重力波で探る宇宙」**

2017年のノーベル物理学賞は、アインシュタインが100年前に予言した重力波を直接捉えることに多大な貢献をした、アメリカの3人の科学者に贈られました。この重力波信号は、2つのブラックホールが合体して1つになるという、とてつもない天体現象から来ていると考えられています。でも見えないはずのブラックホールについて、なぜそんなことがわかるのでしょう？ また、日本のKAGRAも含めた世界の重力波望遠鏡によって、我々の宇宙について今後どのようなことがわかると期待されているのでしょうか？わかりやすく解説します。

5　対　　象　内容は中学生以上の方向けですが、どなたでもご参加いただけます。
6　定　　員　80名（当日先着順・申し込み不要）
7　費　　用　無 料
8　主　　催　大阪市立大学、大阪市立科学館、(公財) 大阪科学振興協会、日本天文学会
9　共　　催　(一社) 日本天文教育普及研究会
10　後　　援　日本学術会議
11　講演会の内容に関する問合わせ先
　　大阪市立大学大学院理学研究科　物理学教室
　　TEL/FAX: 06-6605-2636
　　http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata18/

【講演内容に関する問い合わせ先】
理学研究科 物理学教室　教授:石原秀樹
TEL：06-6605-2636
Mail：ishihara@sci.osaka-cu.ac.jp

【取材に関する問い合わせ先】
法人運営本部 広報室　担当：奥
TEL：06-6605-3411
Mail：t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

全国同時七夕講演会2018

重力波で探る宇宙

大阪市立科学館
大阪市北区中之島4-2-1
2018年7月8日(日) 14:00-16:00 (開場13:30)

講師: 伊藤　洋介
大阪市立大学
大学院理学研究科　准教授

内容:　2017年のノーベル物理学賞は、重力波の直接検出に対して贈られました。この講演では、重力波直接検出の意義や、重力波で宇宙のどのようなことがわかるのかをわかりやすく解説します。
対象:　中学生以上を対象としていますが、どなたでも参加できます。
参加費:　無料
申し込み:不要
お問い合わせ/詳細情報:
http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata18/

主催:大阪市立大学, 大阪市立科学館, (公財)大阪科学振興協会, 日本天文学会
共催: (一社)日本天文教育普及研究会
後援:日本学術会議

Image credit: The SXS (Simulating eXtreme Spacetimes) Project

全国同時七夕講演会２０１８

「重力波で探る宇宙」

参加者募集

2009年は、ガリレオ・ガリレイが世界で初めて望遠鏡を宇宙に向けてからちょうど400年であることを記念し、国際連合、ユネスコ、国際天文連合はこの年を「世界天文年」と定めました。

それにちなんだ企画として始まった「全国同時七夕講演会」には、毎年とてもたくさんの方々に御参加いただき、主催者にとっても、楽しい講演会となっています。今年もまた皆様に宇宙の話を楽しんでいただくために、「全国同時七夕講演会」を開くことになりました。

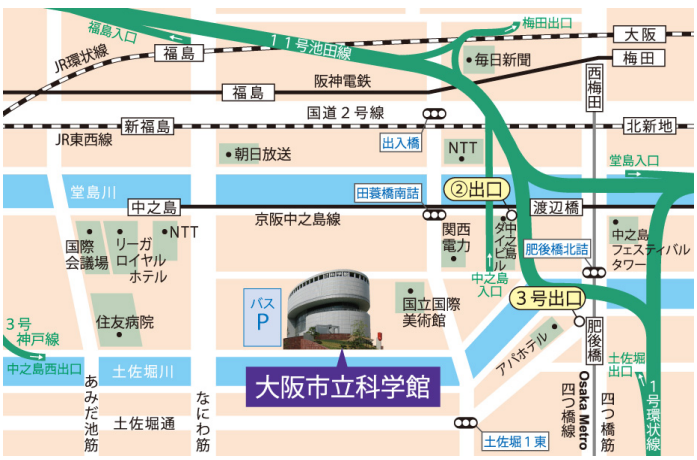
この大阪市立科学館での講演会もその１つです。たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

■ 講師：　伊藤　洋介（大阪市立大学　大学院理学研究科　准教授）
■ 演題：　重力波で探る宇宙
■ 概要：　２０１７年のノーベル物理学賞は、アインシュタインが１００年前に予言した重力波を直接捉えることに多大な貢献をした、アメリカの3人の科学者に贈られました。
この重力波信号は、２つのブラックホールが合体して１つになるという、とてつもない天体現象から来ていると考えられています。でも見えないはずのブラックホールについて、なぜそんなことがわかるのでしょう？　また、日本のKAGRAも含めた世界の重力波望遠鏡によって、我々の宇宙について今後どのようなことがわかると期待されているのでしょうか？わかりやすく解説します。

● 日　時：平成３０年７月８日（日）　１４：００～１６：００（開場１３：３０）
● 場　所：大阪市立科学館　研修室 (地下１階)
（〒530-0005　大阪市北区中之島４－２－１）
● 対　象：内容は中学生以上を対象としていますが、どなたでも参加できます
● 定　員：８０名（当日先着順、申し込み不要）
● 参加費：無料

【問い合わせ】
大阪市立大学　大学院理学研究科　物理学教室
http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/phys/tanabata18/
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL：06-6605-2540, 2641, 2646

大阪市立科学館
http://www.sci-museum.jp/
〒530-0005 大阪市北区中之島4-2-1
TEL：06-6444-5656



会場へのアクセス：
詳しくは「大阪市立科学館」のホームページをご覧ください。
http://www.sci-museum.jp/info/access/

主催：大阪市立大学、大阪市立科学館、(公財)大阪科学振興協会、日本天文学会
共催：（一社）日本天文教育普及研究会
後援：日本学術会議